平成２９年度　小学部　図画工作　シラバス

時数１時間／週

教科等のねらい

・表現及び鑑賞の活動を通して、造作的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

主な指導内容

・自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の創造活動を楽しみ、つくりだす喜びを味わうこと。
・見たことや感じたことを絵にかいたり、つくったり、それを飾ったりすること。
・手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら作品作りをし、自分なりの表現をすること。
・友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。

評価方法

・評価は４観点（①「造形への関心・意欲・態度」、②「発想や構想の能力」、③「創造的な技能」、④「鑑賞の能力」）を設定し、複数の目で評価を行う。
・作品については目標を設定して製作の過程を含めて評価する。

指導計画

月	題材名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4	「運動会のポスターを作ろう」	○デザイン ・クレヨン、水彩用具、筆、ぬたくり、シールなどの使用	・運動会の案内用ポスターを作成する。	①②
5	「こいのぼりを作ろう」	○共同作品 ・水彩用具、筆、クレヨン、ペン、はさみ、のり、折り紙の使用 ・準備、後片付け ・鑑賞	・本体に、うろことなる材料を貼ったり、かいたりしてこいのぼりを作る。 （かく、塗る、切る、貼る、ちぎる）	③④
6	「素敵な世界へようこそ」（図工週間）	○立体作品 ○共同作品 ・テープ、はさみ、段ボールカッター、絵具、筆、ローラーの使用	・段ボールで作った家、トンネル、風呂、車などで遊びながら飾ったり、作ったり、修理したりする。	①②③
6	「夏のかざりを作ろう」	◎夏（七夕など）のかざりを考える。 ・はさみ、のり、折り紙、テープ、クレヨン、ペンの使用 ・鑑賞	・夏の飾り（七夕など）を作る。 （ストローすだれ、折り紙など） ・準備、後片付け	①③④

7	「けずって、表そう」	○絵画作品 ・クレヨン、棒、つま楊枝、コインなどの使用 ・鑑賞	・画用紙に余白を残さないように、黒以外のクレヨンで色を塗り、その上から黒いクレヨンを塗る。つま楊枝やコインなどで黒いクレヨンを削り、風景や人物を描く。	②③④
9	「学習発表会の看板を作ろう」	○共同作品 ・デザイン ・水彩道具、筆、折り紙、ボンドの使用	・学習発表会の案内立て看板を台紙の色合いや文字を工夫して作成する。	①③
9	「ペタペタペッタン　いろいろうつして」 （図工週間）	◎絵画作品・デザイン ・身近な材料の版押し、スタンプ、クレヨン、水彩用具、筆、ペン、はさみ、のり、折り紙の使用 ・鑑賞	・ローラーや版押しで形を重ねたり、並べたりする。	②③④
１０ １１	「自然の物で作ってみよう」	○自然のもの（石、落ち葉、木の枝、草花）に親しみ、自然のものを使って作品を作る。 ・鑑賞	・石に絵をかく ・落ち葉で飾り物を作る。 ・ビニール袋の衣装に落ち葉を貼る。	①②④
１２	「切って、貼って、作ろう」	◎絵画作品 ・折り紙、画用紙、はさみ、のりの使用 ・鑑賞	・折り紙をちぎり、果物などをモチーフに、モザイクの表現方法などで絵に表す。	②
１ ２	「粘土で作ろう」	○立体作品（粘土） ・粘土べら、のし棒の使用	・粘土を丸めたり、伸ばしたり、型を取ったり、重ねたりして作る。 ・粘土を重ね、つなげ､何ができるか考え動物などを作る。	③
3	「ときめきコンサート」	○立体作品 ・輪ゴム・ビーズ・豆など、音の出る材料を使用	・紙コップをシェーカーにしたり、ティッシュボックスを弦楽器にしたりするなど、身近な材料を加工して楽器を作る。	①②

【特設】

月	題材名	指導内容	主な学習活動	評価の観点
年間1・2回程度	「美術館へ行こう」	○地域の美術館や展覧会などへ出掛けて、鑑賞する。	・作品を鑑賞して、感想を発表したり、美術館等の関係者に手紙を送ったりする。	①④